

第7回新しい学校づくり阿南市地域協議会議事録

【協議題】

新しい学校の教育内容，教育環境の整備等について

【協議】

委員

今日の協議の柱は，新しい学校の教育内容と教育環境の整備の2つです。前半を教育内容，後半を教育環境の整備についてお願いします。

委員

この地域協議会は，当初の計画から遅れています。遅れている中で今後のスケジュールを決めて，ある程度の結論を出していくべきだと思います。

教育委員会にお伺いしたいのですが，この協議会は，新野高校と阿南工業高校の統合で出発しているわけですが，状況が変わってきている中で，富岡東高校の商業科や看護科とかは含めないという基本に変わりありませんか。

県教育委員会

この協議会は，高校再編方針を前提としており，例えば富岡東高校の商業科をどうするかといったことについては，阿南工業高校や新野高校のように，同窓会の方などの関係者を入れた新しい協議会の中で議論する必要があると思います。現状では，富岡東高校の具体のことをこの協議会の報告書に書き込むのは難しいと思います。

それとこの協議会は遅れているということでしたが，これまで協議していただいた教育内容などについては，きちんとした合意が得られていないまま，校地の問題にまで前回進んでいったという状況です。今回，皆さまにいろいろなお意見をいただいて，教育内容を決めていただければ，今後順調に進行できるのではと考えております。なるべく早期に阿南市地域の協議会のご意見を報告書という形でまとめていただきたいと思います。

委員

いつを目処に協議会の意見をまとめるかは，我々に任されているのですか。

県教育委員会

次回にまとめるというのは無理だとは思いますが，ただ，来年度以降もずっと続けていくというのも難しいと思います。早期に阿南市地域のご意見をまとめて，できるだけ早く高校再編の形を決めたいと思います。今日は教育内容を決定していただいたり，これを加えたらよいというご意見をいただけたらありがたいと思います。

委員

事務局が会議の日程調整の時に委員の都合を聞いていただけてますが，全員が揃うのは難しいと思います。

委員

遅れた理由はいろいろあると思うのですが、全員出席は望めないで、少々の欠席でも積み上げていって、欠席者には前回の議事録を送付して了承を得る方法が良いのではないかと思います。これについてという焦点を絞って、集中的に協議をしてはどうですか。

委員

私も今日2本の柱と言いましたのは、そういうことを念頭において、教育内容と教育環境の設備について、きちんと進めていこうと思っています。

委員

富岡東高校の商業科と看護科を議論に入れてはいけないと記憶に残っています。経費のことは言わないで、理想を話しあい、あとは県が努力すればよいと思います。

委員

教育委員会でまとめて説明していただいたことについてご自由に意見をいただいておりますが、新しい学校の教育内容についてまとめていきたいと思います。新しい学校の教育の基本方針の「目指す学校像」・「育てたい生徒像」について協議会の報告書にまとめていくということによろしいでしょうか。問題点があれば、ご発言ください。

委員

「目指す学校像」の地域に貢献できる学校は、新しい学校として十分考える必要があると思います。

委員

これは、特色ある教育の中でも大事な項目になっています。重点的な「目指す学校像」として絶対はずさないようにしてほしいと思います。

委員

もっと具体的に記述しなくてよいのですか。

委員

具体的には、学校が出来る時点で決めればよいのではないかと思います。新しい学校の教育の基本方針については、これによろしいでしょうか。

次に、新しい学校の設置学科についてですが、これまで工業科と総合学科ということに絞り込まれてきたのですが、このことについてご意見をいただきたいと思います。

委員

阿南工業高校と新野高校が一緒になっただけという学校では、新しい学校ではありません。教育内容も新しいものがないとだめだと思います。例えば、県南唯一の実業高校を作るといった魅力ある高校を1つ作るとなれば、工業は必要であり、商業も必要であり

ます。もちろん総合学科の中で商業はできるという意見もあると思います。商業を検討するために、富岡東高校関係者を入れなければいけないというのなら、その点だけを協議する別の機会を設けて、協議してもよいのではないかと思います。私の意見としては、県南でも魅力ある総合的な実業高校を作るという意気込みがなければ、魅力ある新しい学校は作れないと思います。

委員

私も同意見なんですが、富岡東高校は中高一貫、富岡西高校は理数科など斬新な発想で、新しい魅力あふれる学校ができたと思います。阿南工業高校と新野高校がこういう形で統合することで、中学生やその保護者に魅力を与えられるか疑問を持ちます。将来は、海部郡・那賀郡を含めた県南全体のことを考え、もう少し斬新な発想で魅力ある学校を作ってはいかがでしょうか。

委員

この上に新たな学科を付け加えることも将来的には検討できるでしょうが、この会ではそのような余裕がありません。

委員

地域協議会としての総意であれば、意見として書くのはかまわないのではないですか。地域協議会としての意見はきちんと書いていかなければならないと思います。

委員

他の協議会では、実現可能なものを打ち出しています。

委員

現状では、阿南工業高校の工業科と新野高校の総合学科をただ引っ付けただけであり、新しい学校、魅力ある学校というインパクトを与られていないと思います。

委員

我々の協議会としては、例えば商業科も新しい学校に設置したいというような意見を報告書に書くというのはどうでしょうか。

県教育委員会

高校再編方針により、基本はこの2校をどのように再編するのかということですが、他の地域協議会でも付帯意見を付けて、報告しているところもあります。

この地域協議会でこのような意見があるというのは、報告書に書いてもよいのではないかと思います。

委員

富岡東高校の商業科をどうするかとは関係なしに考えていくというのではどうでしょうか。

県教育委員会

将来的にいつ再編するかという時期の問題もありますが、普通科を富岡東・富岡西の両校に、そして商業科も含めた総合産業高校ができて、その3校でやっていくということだと思いますが、そういうご提言を2校の再編に加えて、話し合ってもらえるのは結構です。しかし、現在、富岡東高校に商業科がありますので、具体的に商業科を加えるのであれば、同窓会の方などにも入っていただいて検討していただく必要があります。将来、こういうことを目指すことも必要ではないかというご意見を報告書に書いてもらうのはできると思います。

委員

富岡東高校は中高一貫教育を実施する中で、普通科と商業科を残すこととしています。また、新しい校舎も建て、商業施設も産振の費用を使っているので、商業科をなくすという議論は現実的に難しいと思われます。しかし、将来的には、そういう考えもあるとは思いますが。

ただ、総合学科の中で専門性を高めた商業教育を実施するという議論はあると思います。具体的に言うと、鳴門第一高校はほとんど商業科の教育内容と変わらないことを総合学科の中で勉強しています。独立した学科にすると施設や教員の問題があるので、どちらが効果的であるか、また、生徒のニーズが専門学科にあるのかということも考えなければいけないと思います。

また、商業教育そのものが非常に難しくなっています。商業の中心になる就職でも、地元への就職や県内の就職は厳しくなっています。生徒のニーズと産業界の受け皿を見定めながら、どういう教育をするのがよいかという議論や、学科として独立させていいのか、系列でやっていくのがいいのかという議論をする必要があると思います。

委員

商業科としては独立することは、難しいという意見です。商業科は就職が難しいということですが、普通科と同じように進学を志望するのですか。

委員

進学は増えてきていますし、就職は半分を切っています。しかし、教育に特色を持たせて、就職を中心に産業界が期待するような人材を送り出していかなければいけません。

県教育委員会

以前、定員は大体200名ぐらいと説明したと思います。新しい学科を入れるとなると、現在の総合学科と工業科の定員を削らなくてはならないという問題が出てきます。工業科の機械・電気・建設の定員を大きく絞りこむことは難しいと思いますし、総合学科でも少ない人数では系列も作りにくいということもあります。県内で、工業が将来3校となり、総合学科も3校という状況からすれば、この地域には工業・総合学科を置いたほうがいいのかと思います。

また、新高校のコンセプトというのは、総合学科、総合選択制の導入に示すとおり、多様性にあると思います。その中身の充実を図り、魅力あるものにするとも考えていただきたいと思っています。

ある調査では、中学生が高校を決めるポイントとして みんなで楽しめる学校行事が豊富な学校、自分の好きな科目を自由に選択できる学校、つまり総合学制的なもの、職業資格を取るのに有利な学校、つまり専門学制的なものです。中学生の意識も変わってきています。新高校では、総合学科を充実させて魅力化を図り、工業科では資格取得をしっかりとやるというふうに応用できるのではないかと考えています。

委員

工業と総合学科の2本柱、それに商業科を入れて特色ある学校としてできるかどうかですが、情報ビジネス系列を商業科として格上げして、3つの学科で総合選択制とする方向で考えていけばどうでしょうか。

委員

富岡東高校の商業科をどうするのかではなくて、2校は普通科、あと1校はやはり総合高校として総合学科を発展させていくことが大事だと思います。今回の協議会の意見としては、県南における唯一の総合高校を作るんだということで、中長期的なビジョンを中心に据えて、商業科とか福祉の関係とかを意見として付け加えていただけたらと思います。

委員

商業科を設置すると、情報ビジネス系列はなくなると思うのですが、どうですか。

委員

総合学科の情報ビジネス系列というのは、保護者の方には商業のコースだときちんと説明すればよいと思います。将来的に総合学科の系列の中に、スポーツコースもできるかもしれないというような含みを持たせてはどうですか。

委員

商業科を学科として取り上げたら、教育内容が変わってくるかもしれないのではないですか。

委員

将来的には、商業・スポーツ・福祉を総合学科の中に、作っていくという形でよいのではないですか。

委員

総合学科の中のコースで、商業の勉強もできるというぐらいにした方がよいのではないかと思います。

委員

将来的に、商業科や福祉も検討するという文言を報告書の中に入れるのはどうですか。

委員

商業科を検討すると、富岡東高校の商業とセットで考えなければならないと思います。専門的に勉強するとなると教員の問題もあるし、現実的には難しいが、この協議会でも検討する必要があると思います。

委員

今、議論になっている盛り沢山の内容は大事なことですが、この盛り沢山の内容はこの総合学科に可能性を含んでいると思いますので、その点をアピールできれば、受験する子どもたちにも魅力が感じられるのではないかと思います。4系列もありますので、大きな可能性につながるように感じられます。

委員

中長期的なビジョンとして、将来的には総合学科を中心に据えた総合高校を目指すという意見を付け加えてほしいと思います。

委員

総合学科だと専門性が薄れるイメージがありますが、科目や教科の配置でかなり専門教科も勉強できます。鳴門第一高校は、商業科とほとんど同じ内容をしています。ただ、時代の流れの中で、商業の検定から情報の検定にシフトしていった方がよいのか議論する必要があります。総合学科でも専門教育をすることはできますが、整理をしていかないと専門性が薄れてきます。

委員

総合という言葉は非常に難しい。技術面を基本においた学校にするんだというビジョンを持たすことが大事であると思います。

委員

高校も魅力ある高校づくりに頑張っていると思いますし、中学校もキャリア教育に力を入れていて、生徒の意識もだいぶ変わってきています。しかし、普通科志望が多いのが現状であり、単純に新野高校と阿南工業高校が一緒になるというのであれば、志望する生徒は現在と変わらないと思います。だから、中学生が行きたいと思うような魅力ある学校を作ってほしいと思います。

委員

新設高校の校舎は新築しなければいけないのではないですか。両校とも築33年、40年なので、耐震強化しても50年経てばだめになるのではないですか。

県教育委員会

改築が必要な校舎もあると思いますが、使用できる校舎もあるので、全面的に改築するとは考えておりません。

委員

鳴門の方は間もなく、工事にかかるのですか。

県教育委員会

平成24年度に新高校を開校しますが、2つのキャンパスは、3年間はそれぞれそのまま使用します。その間に鳴門工業高校を校地として、現在の建物を耐震改修し、3年後には耐震改修後の校舎に移り、キャンパスが統合されます。

委員

具体的に新野高校と阿南工業高校が一緒になる新しい学校ができるのはいつ頃ですか。

県教育委員会

3～4年間は耐震診断、耐震設計、耐震工事にかかります。

委員

平成30年に再編するのではないのですか。

県教育委員会

平成17年度に作成した再編方針では、平成30年頃までに7つの地域の再編を段階的に進めることとなっております。

委員

段階的にとは、再編整備が平成27年から28年ぐらいにできるのですか。

県教育委員会

最終、平成30年度としております。

この協議会で、情勢や将来のビジョンも踏まえながら、いつ頃この高校を作ったら阿南市地域にとっていいのかを議論していただこうと思っています。今日は、教育内容をまず決めていただくわけですが、この教育内容については、単に工業高校と総合学科高校をくっつけただけとは考えていません。新しい総合学科には、商業系・農業系・普通科の理系文系を含めた、幅広い総合学科になると思います。それに工業が加わったら、工業・商業・農業この3つの専門学科の中心となる学科が揃うこととなります。それに自然系列・人文芸術系列が併さって、総合産業高校的な高校になると考えています。

委員

現段階では、工業科と総合学科を柱にして、将来的に商業科、福祉などを検討するぐらいで、設置学科についてはこれでよろしいでしょうか。

委員

新しい学校の名前のイメージが関係してくるのではないですか。

委員

それは、もっと先に決めるのがよいのではないかと思います。

委員

県教委としては、将来的に富岡西高校、富岡東高校を普通科高校として集約していくという認識はないのですか。

県教育委員会

富岡東高校には羽ノ浦校、商業科、定時制があり、富岡西高校には理数科ができましたが、両校とも中心は普通科です。ただ、富岡東高校のパワーの源というのは、普通科だけでなく商業も含めて文武両道でやってきたという実績にあるのではないかと思います。

委員

大きな県の高校再編としては、普通科を2校に集約し、実業高校を1つ作るという方向に打ち出すべきであったと思います。

県教育委員会

大きな幅広い視点での協議も大事だと思います。新しい高校の将来ビジョンについて、この協議会で触れていくことも大事なことです。

委員

海部高校にも情報ビジネスがあるのでしょうか。

県教育委員会

宍喰商業が合併したからです。

委員

そういうのも含めて、それぞれが特色ある学校にしていけないといけないと思います。

県教育委員会

阿南市地域が3校になった場合、2校が普通科を中心とした役割を担い、1校が工業科・総合学科で産業的な部分の阿南の人づくりを担っていくというコンセプトの認識は変わらないと思います。

委員

10年、20年後のことを考えた意見も、報告書に入れてほしいと思います。

委員

報告書については最終回に審議して、まとめていきたいと思います。

新しい高校の設置学科については、現段階では工業科と総合学科、将来的にはいろいろ

るなビジョンを入れて、新しいイメージの学校を作ること報告書にまとめていくということによろしいでしょうか。

次に特色ある教育について、4つの柱を掲げていますが、これについてはいかがでしょうか。1番は総合選択制で、生徒が自由に科目を選択できるというものであります。2番目はものづくりで、技術等資格を含めて身につける。あとは具体的には難しいですが、大事な視点であります。特色ある学校として社会とのつながりは、これからの教育について必要なことでもあります。この4つ以外の他に何かありますか。

委員

この4点はかなり精選されていると思います。2つの学科が了承を得られた根底にあるのではないかと思います。

委員

これで了承されたということによろしいでしょうか。

総合選択制は、生徒が総合選択科目の中で好きな教科を学ぶと同時に、進学に対応できます。工業科からも進学に必要な科目を選択できますが、これで工業科の生徒が進学する場合に十分ですか。

委員

今は理数コースで対応していますが、将来を考えたら廃止して、総合学科にある進学に必要な科目を活用すれば、進学に対応できるのではないかと思います。

委員

教育内容について、これまで協議した内容についてお認めいただいたということによろしいでしょうか。

では、新しい学校の教育環境等についてですが、施設等の比較につきましては、今まで説明していただいておりますが、どちらに設置しても対応できるのでしょうか。

県教育委員会

阿南工業高校に設置した場合は、教室等の数は十分にあります。温室などは別として、新しく棟を建てる必要はありません。ただ、施設自体が古く、改築が必要な建物があります。

新野高校に設置した場合は、新たに工業用の新しい棟を建築する必要があります。

委員

施設整備費用に関連して、跡地の売却金額も関係してくるのではないですか。

県教育委員会

跡地をどう活用するかは現時点ではわかりませんが、売却したら県に入ります。

委員

いくらで売却するのかによって、建設事業費に関係してくるのではないですか。県の財政運用に関係するのではないですか。

県教育委員会

県全体の財政の中では歳入にカウントされますが、ここでいう高校の施設整備に直接繋がる話になるとは必ずしもいえないと思います。

県教育委員会

阿南工業高校は広いが、古いので建て直す校舎があり、それに費用がかかります。新野高校は、工業棟などの校舎を新設しないといけません。これに大きなお金がかかります。

委員

その場合、スペースは今のままで大丈夫ですか。

県教育委員会

先程も申しましたように、阿南工業高校は広いので耐震改修・改築をすれば大丈夫です。新野高校は新しく建てないといけないのですが、校地のどこに建てるかはまだ考えていません。

委員

新野高校で、運動場のスペースは大丈夫ですか。
ホッケーや野球などが出来ることを念頭においてもらいたいと思いますが。

県教育委員会

校地については、施設や建設費用などの他に、交通の便だとか、校庭の広さとかいろいろな要素があります。それはこの場で議論していただいて、ご意見をいただけたらと思います。

委員

必要な設備は必要なので、広い狭いは関係ないと思います。

委員

現有施設をできるだけ活用するというのが前提だったと思います。

委員

現有施設を活用するのはいいのですが、せっかく新しい高校を作るのだから、新しい校舎をセットしてあげなければ、魅力ある学校にならないと思います。財政にしばられて、議論することはこの協議会の仕事ではないと思います。

委員

両方を処分すればいくらかのお金はできるのだから、新たな土地で魅力のある学校を作

ることも検討すればと言ってきました。

委員

夢を実現するための意見を出し合って、まとめる方向で進んでもらいたいと思います。あと採用するかどうかは、県教委に決めてもらえればよいと思います。

県教育委員会

私どもも、できれば新しい校舎で新高校をと思いますが、現実的には難しいので、阿南工業高校にしても新野高校にしても、耐震改修してももたないものは改築して、活用したいと考えています。

委員

ある程度、地域としてはこういう願いがあるというのを聞いておいてほしいと思います。

委員

今ある施設を使うということで議論してきたので、新しい土地に行けるのであればもっと考えてみないといけないと思います。

委員

そういう極端なものではなくて、ある程度の理想も加えて議論する必要があるのではないかと思います。

委員

科目選択はいろいろあったんですが、学習する時間帯の選択というのはないのですか。

県教育委員会

学習する時間帯の選択はありません。

委員

期間が空いたということもあって、議論する内容が進んでいません。この先どこまで決めていくのか。場所の選定まで我々がすべきことなのか、私自身疑問として感じています。場所を決めた後、どこまでのことを決めていくのかをはっきり決めてほしいと思います。

県教育委員会

今までの例でいうと主な項目としては、教育の基本方針、設置学科、教育内容、残りは地域によって若干違いますが、設置場所、再編統合する時期、部活動、今後の方向性・取り組み、付帯意見などがあります。少なくとも設置場所、再編統合の時期はどの地域協議会でも書いています。議論はしたけれども、こういう意見があって、合意に至らなかったという場合もありますし、報告書によっては強い要望・意見もあるかもしれません。再編統合時期も、子どもたちが減っているので、できるだけ早期にしてほしいという意見もあるかもしれません。また、状況変化を考えて決めるべきではないかという意見もあるかもしれませ

ん。協議会によって違います。

あと議論していただく主なものは、設置場所と再編統合時期です。それが決まれば、次は報告書をどういう形で出すかということになります。

委員

今日はかなりのことがまとまってきたと思います。次回は設置場所や時期について協議をして、方向性を出し、問題点を洗い出したいと思います。

県教育委員会

次回は設置場所、再編統合の時期、必要ならば部活動について議論してほしいと思います。そうすると、他の協議会の報告書に書いてある部分はすべて議論したことになりますので、その上で骨子をどうするかなどを伺えたらと思います。

委員

それでは予定していた時間もまいりました。本日は沢山の貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

以上を持ちまして、本日の協議を終了します。